|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  氏　　　名 | |  | | 年　　月　　日生　　(　　　歳　) | | | | | | |  |
| 住　　　所 | |  | | | | | | | | | |
| 1. 病名   ＩＣＤコードは、右の病名  と対応するＦ００～Ｆ９９、Ｇ４０のいずれかを記載 | | (１) 主たる精神障害 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ＩＣＤコード(　　　　　)  (２) 従たる精神障害 　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　ＩＣＤコード(　　　　　)  (３)身体合併症　　　　　　　　　　　　　　　　　　　身体障害者手帳(有・無)種別　 　級） | | | ②初診年月日  主たる精神障害の初診年月日  　　　年　　月　　日  診断書作成機関の初診年月日  　　　年　　月　　日 | | | | | | |
| ③発病から現在までの病歴及び治療の経過、内容  (推定発病年月、発病状況、初発症状、治療の経過、治療内容などを記載する。) | | (推定発病時期　　　　　年　　　月頃)  ＊器質性精神障害(認知症を除く)の場合、発症の原因となった疾患名とその発病日  (疾患名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日) | | | | | | | | | |
| ④現在の病状、状態像等(該当する項目を○で囲んでください。)  (１)抑うつ状態  １思考・運動抑制　２易刺激性、興奮　３憂うつ気分　４その他(　　　　　　　　)  (２)躁状態  １行為心迫　２多弁　３感情高揚・易刺激性　４その他(　　　　　　　　　　)  (３)幻覚妄想状態  １幻覚　２妄想　３その他(　　　　　　　　　　　)  (４)精神運動興奮及び昏迷の状態  １興奮　２昏迷　３拒絶　４その他(　　　　　　　　)  (５)統合失調症等残遺状態  １自閉　２感情平板化　３意欲の減退　４その他(　　　　　　　　　　)  (６)情動及び行動の障害  １爆発性 ２暴力・衝動行為 ３多動 ４食行動の異常 ５チック・汚言  ６その他(　　　　 　　　)  (７)不安及び不穏  １強度の不安・恐怖感　２強迫体験　３心的外傷に関連する症状　４解離・転換症状  ５その他(　　　　　　　　　　)  (８)てんかん発作等(けいれんおよび意識障害)  １てんかん発作　発作型(　　　　　　　)頻度(　　　　)最終発作(　　年　　月　　日)  ２意識障害　３その他(　　　　　　　　　)  (９)精神作用物質の乱用および依存等  １アルコール　２覚せい剤　３有機溶剤　４その他(　　　　　　　　　)  ア乱用　イ依存　ウ残遺性・遅発性精神病性障害(状態像を該当項目に再掲すること)  エその他(　　　　　　　　　　　　)  現在の精神作用物質の使用　有・無　(不使用の場合、その期間　　　　年　　　月から)  (１０)知能・記憶・学習・注意障害  １知的障害(精神遅滞)　ア軽度　イ中等度　ウ重度　療育手帳(有・無、等級等　　　　級)  ２認知症　３その他の記憶障害(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)  ４学習の困難　ア読み　イ書き　ウ算数　エその他(　　　　　　　)  ５遂行機能障害　６注意障害　７その他(　　　　　　　　　)  (１１)広汎性発達障害関連症状  １相互的な社会環境の質的障害　２コミュニケーションのパターンにおける質的障害  ３限定した常同的で反復的な関心と活動　４その他(　　　　　　　　　　　)  (１２)その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | ⑥生活能力の状態  (保護的環境ではない場合を想定して判断する。児童では年齢相応の能力と比較の上で判断する。)  １現在の生活環境  入院・入所(施設名　　　　　　　　　)・在宅(ア単身・イ家族等と同居)・その他(　　　　)  ２日常生活能力の判定 (該当するもの１つを○で囲んで下さい。)  (１)適切な食事摂取  自発的にできる・自発的にできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (２)身辺の清潔保持、規則正しい生活  自発的にできる・自発的にできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (３)金銭管理と買物  適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (４)通院と服薬(要・不要)  　適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (５)他人との意志伝達・対人関係  　適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (６)身辺の安全保持・危機対応  　適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (７)社会的手続きや公共施設の利用  　適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  (８)趣味・娯楽への関心、文化的社会的活動への参加  　適切にできる・おおむねできるが援助が必要・援助があればできる・できない  ３日常生活能力の程度　(該当する番号を選んで、どれか１つを○で囲んでください。)   1. 精神障害を認めるが、日常生活及び社会生活は普通にできる。 2. 精神障害を認め、日常生活又は社会生活に一定の制限を受ける。 3. 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、時に応じて援助を必要とする。 4. 精神障害を認め、日常生活に著しい制限を受けており、常時援助を必要とする。 5. 精神障害を認め、身の回りのことはほとんどできない。 | | | | | | | | |
| ⑦⑥の具体的程度、状態像 | | | | | | | | |
| ⑤④の病状、状態像等の具体的程度、症状、検査所見等  ［検査所見：検査名、検査結果、検査時期］ | | |
| ⑧現在の障害福祉等のサービスの利用状況  (障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)に規定する自立訓練(生活訓練)、共同生活援助(グループホーム)、居宅介護(ホームヘルプ)、その他の障害福祉サービス、訪問指導、生活保護の有無等) | | | | | | | | | | | |
| ⑨備　考 |  | | | | | | | | | | |
| 上記のとおり、診断します。　　　　　　　　　　医療機関名称  医療機関所在地  　　　　年　　　　月　　　　日　　　　　電話番号  診療担当科名  医師氏名 | | | | | | ※障害等級等判定欄 | | | | | |
| １  級 | ２    級 | ３    級 | 不  承  認 | 精療  神の  通み  院承医認 | |
|  |  |  |  |  | |

　　　　　　　　　診　断　書　(精神障害者保健福祉手帳用)　　　こころの健康センター送付用